

平成 23 年度『受験生のための筑波大学説明会』 Q & A

情報学群 知識情報・図書館学類

情報学群 知識情報・図書館学類の説明会にご参加いただきまして、ありがとうございます。
Q&A を作成しましたので、参考にしてください。

1. 教育について

Q. 授業内容や、卒業研究のテーマはどのようなものがありますか。

A. 1、2 年次には、知識情報概論、哲学といった導入科目や、情報社会と法制度、プログラミング演習、情報数学、統計、情報行動論、知識資源組織化論、テキスト解釈などの専門領域の基礎となる科目があります。3 年次からは各主専攻に分かれ、専門科目を学びます。詳しくはパンフレットをご覧ください。また、卒業研究のテーマは <http://klis.tsukuba.ac.jp/archives/> でご覧いただけます。

Q. 図書館での実習はありますか。

A. 3 年次の選択科目として図書館や情報を扱う機関での実習「インターンシップ」があります。また、海外の図書館や専門機関で実習を行う「国際インターンシップ」も実施しています。

Q. 私は文系ですが、入学後にどの程度数学を勉強することになりますか。また、その時に数Ⅲ/数 C の範囲は自分で勉強するのですか。

A. 数学関係では「情報数学」と「統計」が必修科目です。「情報数学」では情報科学の基礎である記号論理と数 C の一部である行列を扱います。「統計」は数 C の確率分布、統計処理をさらに発展させます。これらの科目は、数Ⅲや数 C を学んでいないことを前提に、基礎から説明を行っており、文系の学生も全員、特別の補習なしに受講しています。

2. 学生生活について

Q. 寮費について知りたい。

A. 2012 年 4 月から、寄宿料 8,000 円と共益費 6,840 円で月額 14,840 円です。これに加えて、個室電気料が 2,000 円程度、コインランドリー代が 1 回 100 円かかります。

3. 進路・就職について

Q. 知識情報・図書館学類の卒業生はどんな職業に就いていますか。

A. 情報に関わる多様な職業に就いています。就職先としてはシンクタンク、出版社、広告代理店、マニュアル制作、インターネット関連企業、通信会社、システム開発、情報サービス、図書館、図書流通関係などが挙げられますが、一般企業に就職した場合も情報関連の業務に就いています。詳しくはパンフレットをご覧ください。

Q. 大学としての就職支援はどの様になっていますか。

A. 公務員希望者には、教養試験対策として模擬試験の実施と、1次試験の合格後に面接に向けたアドバイスなどを行っています。企業等の希望者には、ガイダンス、会社説明会、面接講座などを開催しています。また、知識情報・図書館学類では、4名の就職支援担当教員の他、週に1回、キャリアカウンセラーが学生の個別相談に応じています。これらに加えて、大学本部が実施する各種の就職支援も利用できます。

Q. 司書の採用数、また、図書館に就職する時の倍率を知りたい。

A. 公共図書館で常勤職員として働くには、司書職の採用試験に合格するか、事務職の採用試験に合格して図書館に配属される必要があります。大学図書館では、大学が個別あるいは共同で採用試験を行っています。採用数は年度により、まちまちです。倍率は数倍から数十倍まで様々で、合格するには、専門試験だけでなく、教養試験で高得点をとることが必要です。

Q. 知識情報・図書館学類に在籍しながら、国語教員の免許を取る方法はないのでしょうか？

A. 知識情報・図書館学類では、中学校教諭一種免許状（社会・数学）と高等学校教諭一種免許状（公民・数学・情報）が取得できます。それ以外の免許状については、他学類開設の所定の科目の単位取得により可能ですが、あまりお勧めはしません。

4. その他

Q. 震災の影響を教えてください。

A. 天王台エリアには現在も使用できない設備がありますが、春日エリアでは全ての施設・設備が早期に復旧し、学習環境に問題はありません。

(2011.7.30)